

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 5月 31日 金曜日 9時00分

天候 雨／曇り
観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)	
1. 岸信夫 さん前 (16.2)	1	21.2	5.7		珪	0
	3	20.7	5.7	33	珪	0
	5	20.3	6.0		珪	0
2. 大江 (14.1)	1	21.8	6.1		珪	0
	3	20.8	6.1	33	珪	0
	5	20.4	6.0		珪	0
3. 道方 (10.8)	1	22.1	5.9		珪	0
	3	20.6	5.8	33	珪	0
	5	20.1	5.5		珪	0
4. 毛無 (18.1)	1	21.6	5.6		珪	0
	3	20.6	5.6	33	珪	0
	5	20.4	5.7		珪	0
5. この浦 (中央) (13.7)	1	21.9	5.4		珪	20
	3	20.9	5.4	34	珪	330
	5	20.8	5.5		珪	150
6. この浦 (奥) (9.7)	1	22.2	6.3		珪	200
	3	21.3	6.7	34	珪	460
	5	21.1	6.6		珪	160
7. テラマル (19.1)	1	20.2	6.3		珪	20
	3	20.0	6.3	32	珪	230
	5	19.8	6.2		珪	50
8. カマバ (12.1)	1	20.4	7.1		珪	0
	3	20.1	6.9	32	珪	0
	5	20.0	7.0		珪	0

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。